

1 必要性

- 富山県内で生産される農林水産物・食品は、県民へ品質の高い食料を安定的に供給し、地域を形作り、富山ブランドを形成する重要なもの。富山県への観光・移住などの関係人口を増やすことにもつながる。
- 一方で、富山県の農林水産物の生産額は減少傾向。農業従事者数も減少しており、人口が減少していく将来を見据えると、農林水産業者の所得を向上させ、農林水産業を志す若者を増やしていく必要がある。
- 今後、人口減少が継続する日本にあって、農林水産物・食品の販売を拡大していくためには、需要が拡大している海外の販路もしっかりととらえていく必要がある。

2 輸出拡大の基本方針

- (1) 重点品目だけでなく、マーケットインの発想で幅広い品目をチャレンジ
- (2) 「とやま輸出コミュニティ」をつくり、情報交換・連携を促進
- (3) 地域商社を中心とした「輸出プラットフォーム」で商流開拓等を促進
- (4) 「リーディング・プロジェクト」で海外の小売・レストランへアプローチ

<以下に留意して進める>

1. ゼロから取り組むのではなく、既に海外マーケットとつながる事業者、海外ニーズを把握する者、他県の事業者・生産者とも組み、実効性のある取組みを進める。
2. 全国で輸出拡大に取り組んでいることを認識し、全国団体等との連携や後発でも実現可能な取組みを追求する。
3. 現場に合わせて柔軟に対応。所得向上の観点からも輸出だけでなく国内出荷による利益確保も重要。

3 輸出の現状と目標

現状(R2): 12億円(取組む事業者数54者) → 目標(R8): 120億円(100者) (単位:億円)

	現状(R2)	目標(R8)	備考
コメ・コメ加工品	2.7	10	精米、パックご飯、米菓等
日本酒等	3.3	65	日本酒、ウイスキー、梅酒等
水産物・水産加工品	4.3	15	冷凍魚、ホタルイカ加工品等
重点品目以外の品目	1.7	30	鶏卵、干柿、調味料等

輸出額 12.0 → 120 現状の10倍

国の2025(R7)年目標2兆円のうち、本県で生産・輸出可能な品目分(肉、養殖魚等を除外)の合計は約3,700億円。R8目標額120億円はその3.2%に相当。

<品目別の課題>

- コメ …… 生産量は米卸業者がコントロール、国内産地間競争の激化
- コメ加工品 …… 米菓は長期契約が少ない、コメの加工品開発が必要
- 日本酒等 …… 差別化にはストーリーが必要
- 水産物 …… 美味しい食べ方の提案が不足
- 水産加工品 …… 長期輸送が可能となる冷凍・解凍技術の確立が必要
- 重点品目以外の品目 …… 県内に農林水産物等の輸出を手掛ける商社が不在

対象期間：令和4(2022)年度から令和8(2026)年度までの5年間

4 施策の展開方向

<品目を特定しない対策>

輸出意欲のある生産者・事業者を海外市場につなぐ取組み

「とやま輸出コミュニティ」(仮称)の創設

輸出に関わる事業者、支援者等をメンバーとする富山のコミュニティをつくり、「見える化」し、事業者間の交流・情報交換、新しい出会いによる研究や連携した取組を促進

リーディング・プロジェクト(LP)で先駆的な輸出

事業者・支援者が協働で実施する先駆的な輸出プロジェクトを設定・推進

- LP例
- ① フランスの輸入業者との連携プロジェクト: 海外市場関係者の求める商品ラインアップ・商品改良、シェフとのタイアップ等による小売・パティシエ等へのプレゼン
 - ② ECサイト向けデザインプロジェクト: 目を引く商品イメージ写真、キャッチフレーズなどのデザイン
 - ③ 富山カフェプロジェクト: 海外カフェ・レストランの協力を得て、富山の食材や料理メニューを提供 など

地域商社を中心とした「輸出プラットフォーム(PF)」で商流を確立

輸出PFにおいて、複数の富山県産品をまとめたロットで輸出の商流を構築
 ▶ 市場を踏まえた商品開発、伏木富山港を活用した物流調整・実証などを支援

個別事業者の取組みの発展段階に応じた支援

トライアル期 輸出アカデミー開催… WEBを活用した海外とのマッチングを伴走型で支援
 発展期 輸出拡大活動支援… 現地プロモーターと連携した小売、レストランでの販促活動等を支援
 飛躍期 輸出産地等の支援… 計画策定や商品開発、HACCP等対応施設の整備等を支援

海外の小売・レストランでのイベント開催

<品目ごとの対策>

コメ・コメ加工品

- ・コメ…米穀卸との関係構築による計画生産(継続)
- ・コメ加工品…原料や製法へのこだわりアピール、外食等との連携による商品開発

LP例 おしるこ用のお餅、お茶漬け用の米菓、米粉を使った製品など、現地外食と連携した新たなマーケット開拓を進める。

日本酒等

「富山の酒」としての海外展開を推進

LP例 県内蔵元と共同で県産酒米を使用した地酒を評価・調査し、対象国の嗜好等に対応した商品開発とストーリー作りを行い、JFOODO(日本食品海外プロモーションセンター)とも連携して発信・販売を進める。

水産物・水産加工品

加工品の輸出力・ブランド力の強化、食文化の普及等

LP例 海外ニーズが見込まれる加工品(蒲鉾、ますずし等)の冷凍・解凍、真空パックなど長期保存技術の実用化をデザイン改良と同時に進めるとともに、「富山のさかな」の市場開拓を進める。

重点品目以外の品目

とやま輸出コミュニティで新たな生産者・品目を掘り起こし、地域商社が運営する輸出PFによる輸出ルートの確立、または、個別取引への伴走型サポート、段階に応じた支援を進める。

※園芸作物(野菜・果物・花き)及びその加工品や林産物(きのこ、木材加工品等)の可能性も探る。

参考1 「とやま輸出コミュニティ」(仮称)/リーディング・プロジェクト/輸出プラットフォーム

「とやま輸出コミュニティ」

- 富山県の農林水産物・食品の輸出に関わる事業者・支援者等で構成するコミュニティ組織
- コミュニティのメンバーや活動内容を交流サイトなどで「見える化」することで、事業者間連携を促進
- この組織メンバーを中心に、新たな「リーディング・プロジェクト」や「輸出プラットフォーム」形成を進める。

コミュニティ設立の流れ



輸出に取り組む事業者

農林漁業者、食品製造業者、地域商社、卸業者、物流会社等

支援者

金融機関、ジェトロ、県、市町村、農政局、海外に拠点を持つ企業等

交流サイトの構成

- ・メンバー登録申請フォーム
- ・イベントのお知らせ
- ・輸出拡大の施策、支援事業の紹介
- ・輸出相談窓口、市町村窓口の紹介
- ・会員の情報
 - 《一般公開用》 事業者名、代表者、電話番号
 - 《会員限定》 輸出希望商品、輸出先、担当者連絡先 等

活動内容

- ・勉強会(他県先進事例、専門家招聘等)、情報交換会(LPの活動報告、海外情勢等)
- ・イベント(商談会、見本市等)の参加募集、交流サイトの運営 等
- ・LPの発案・メンバーの募集、輸出PFへの参加事業者募集

リーディング・プロジェクト(LP)

- 富山県の農林水産物・食品の輸出を牽引する、事業者・支援者が協働で実施する先駆的な輸出プロジェクト。輸出ルートの創設や拡大のきっかけとなるもの
- 県庁予算事業等で支援

<対象とするもの>

- ① ワクワクする取組であること
- ② 様々な分野の事業者も含め、意欲的な事業者、支援者が集まって実施するもの
- ③ 輸出ルートの創設や、既に輸出しているものの量を拡大するなど、新規性・先進性があるもの
- ④ 新しいアイデアが盛り込まれているとなお良い

プロジェクトごとに賛同者とチームを編成

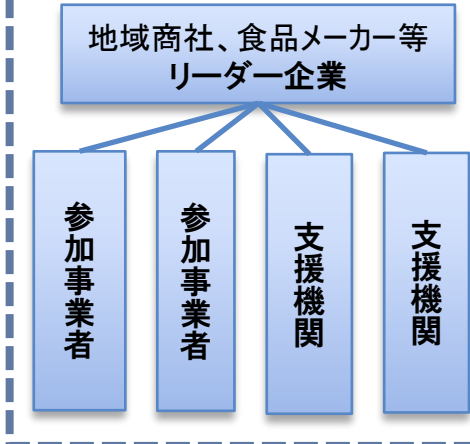
LP①

LP②

LP③

調査研究のみの場合もある

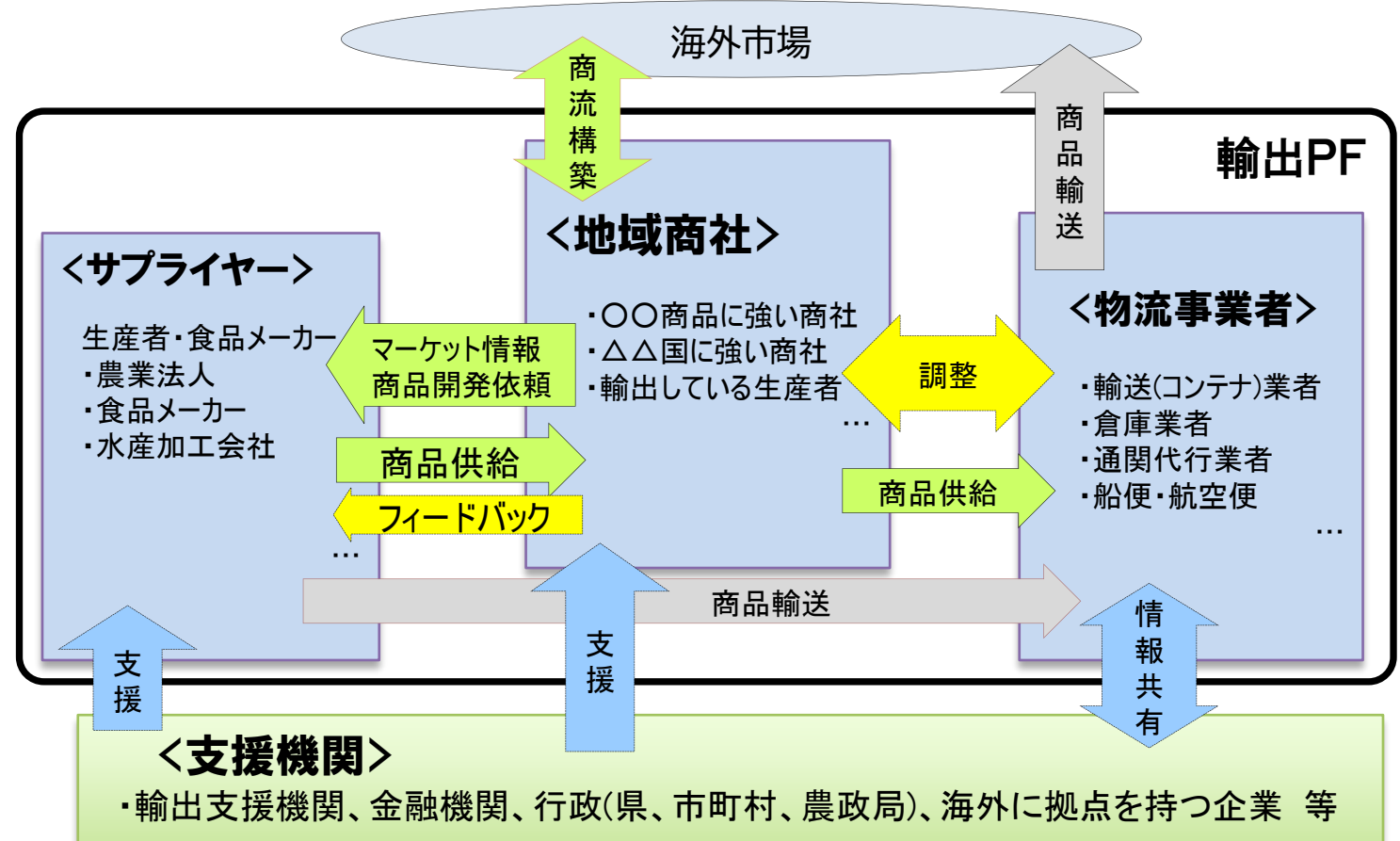
LPの体制イメージ



輸出プラットフォーム

輸出実践部隊

- 地域商社を中心とした生産者・食品メーカー、物流事業者との輸出を行うために形成する連携体。多くの県産品・他県産品をまとめたロットで輸出の商流を構築するもの
- LPの輸出実践の受け皿となるほか、逆にLPの発案者となる



参考2 輸出目標額の内訳と令和4年度県予算の概要

輸出目標額

コメ・コメ加工品

主な輸出先：香港、シンガポール、台湾、中国、オーストラリア、欧州、アメリカ

品目	指標	現状(R2)	現行方針の目標(R3)	新方針の目標(R8)
コメ	輸出量	1,458ト _ン	1,800ト _ン	3,800ト _ン
	輸出金額	2.1億円	—	7億円
	取組事業者数	5JA、7事業者	—	6JA、10事業者
コメ加工品	輸出金額	5,400万円	1.3億円	3億円
	取組事業者数	3事業者	—	15事業者

日本酒等

主な輸出先：欧州、中国、韓国、香港、台湾、アメリカ、シンガポール、東南アジア

指標	現状(R2)	現行方針の目標(R8)	新方針の目標(R8)
輸出量	190k _ℓ	200k _ℓ	700k _ℓ
輸出金額	3.3億円	—	65億円
取組事業者数	13者	—	14者

水産物・水産加工品

主な輸出先：香港、東南アジア、台湾、中国、韓国、EU、アメリカ、シンガポール

品目	指標	現状(R2)	現行方針の目標(R3)	新方針の目標(R8)
水産物 (冷凍魚含む)	輸出金額	4.0億円	2.3億円	10億円
	取組事業者数	5者	—	5者
水産加工品	輸出金額	0.3億円	(水産物に含む)	5億円
	取組事業者数	8者	—	15者
合計	輸出金額	4.3億円	2.3億円	15億円
	取組事業者数	13者	—	20者

重点品目以外の品目

主な輸出先：香港、シンガポール、台湾、東南アジア等

目標指標	現状(R2)	目標(R8)	備考
輸出金額	1.7億円	30億円	鶏卵、干柿、調味料、清涼飲料、
取組事業者数	13者	35者	麺類、野菜加工品等

令和4年度の主な施策

()内はR3当初予算額

とやまの農林水産物等輸出促進事業【予算額 111,900(55,360)千円】

(1) 輸出情報センター事業【1,000(1,000)千円】

① センター運営事業

委託先：(一社) 富山県食品産業協会

➢業務内容：生産者や食品メーカーの輸出に関する相談や情報提供(規制、補助事業等) など

新 ② 「とやま輸出コミュニティ」(仮称)運営事業

富山の農林水産物・食品の輸出に関わる事業者・支援者等で構成するコミュニティ組織を創設し、メンバー間の交流・情報交換・勉強会等を通じて、「新たなリーディング・プロジェクト」や「輸出プラットフォーム形成」の促進を図る。

➢構成員(案)：生産者、食品メーカー、県内商社、物流会社、ジェトロ富山、金融機関、行政(農政局、県、市町村)等

➢事務局：県とジェトロ富山

➢実施内容：メンバー募集、交流サイトの設置・運営、定期的な勉強会の開催 など

新 (2) 輸出プラットフォーム運営検討事業【9,000(—)千円】

多くの生産者が輸出に取り組めるような商流・物流構築を図るため、事業者・支援者が協働で実施するリーディング・プロジェクトを支援するとともに、民間主導型の地域商社の育成と、その地域商社が生産者・食品メーカー、物流事業者と形成する「輸出PF」による輸出体制づくりを進める。

① リーディング・プロジェクト支援事業

➢実施主体：地域商社もしくは生産者・食品メーカー

➢実施内容：輸出プロジェクトの設定、輸出関連の調査・研究(マーケティング、プロモーション手法等)

② 地域商社育成事業

➢委託先：地域商社を目指す企業 2社程度(公募)

➢委託限度額：1者あたり300万円(うち成果連動型委託分50万円)

➢事業期間：最長3年間(PFSの割合は段階的に引上)

➢委託内容：輸出PFの形成、商流構築、商品開発、物流調整 など

③ 輸出PF形成準備検討事業

➢委託先：(株)日本経済研究所

➢検討メンバー(案)：輸出支援機関、金融機関、行政(県、市町村)

➢検討項目：地域商社の役割・機能の明確化、地域商社への関係者の関わり方等

(3) 海外バイヤーとのWEBマッチング支援事業【4,000(4,000)千円】…「輸出アカデミー」開催(伴走型人材育成)

拡 (4) とやま輸出拡大活動支援事業【8,000(6,200)千円】

海外での販路開拓や、その販路の定着に向けた現地プロモーターと連携した販促活動等を支援

➢補助率：1/2

➢対象経費：トライアル型(上限50万円/回)…①商談会等への出展、②商品開発、成分分析等

発展型(上限100万円/2年間)…コンサルを活用した戦略策定、現地プロモーターと連携した販促活動 など

(5) 輸出産地等の支援【84,000(29,000)千円】

① グローバル産地づくり推進事業(国補,ソフト)(9,000千円)

② 輸出向けHACCP等対応施設整備事業(国補,ハード)(75,000千円)

新 (6) 富山の酒海外展開事業【1,000(—)千円】

「富山の酒ブランド」の海外展開を図るため、県内蔵元と共同で県産酒米を使用した地酒を評価・調査し、対象国の嗜好等に対応した商品開発とストーリー作りを行う。(JFOODOのプロモーションも活用)

➢進め方：輸出意欲の高い県内蔵元と県が共同で海外展開手法を検討

➢検討項目：富山の地酒の輸出に向けたストーリー建て、調査項目・方法 など

➢実施内容：海外輸入業者と連携して、欧州での富山の酒プロモーション県産酒米使用銘柄等の評価 など